No. 7 March. 2001

静岡大学生涯学習教育研究センター

地域と大学　第7号

Newsletter No. 7, Center for Education and Research of Lifelong Learning

今後の公開講座の一課題

静岡大学農学部教授　大石（おおいし）　惇（あつし）

「生涯学習教育研究センター研究会」が静岡大学内に発足した。この研究会は、5年目を迎えた生涯学習教育研究センターの在り方に、反省を加えつつ今後のよりよい事業を企画して行こうとする趣旨のものである。

その第1回の研究会として、さる2月28日(水)に、大学会館研修室で開かれ、出席させていただいた。本学センターの2年先輩（平成7年設置）に当たる宮崎大学からセンター助教授の原　義彦先生及び1年先輩（平成8年設置）の富山大学からセンター教授の大石　昂先生をお招きして、テーマは「生涯学習教育研究センターの在り方と諸事業」という内容で話し合われた。

両大学とも、講師謝金などの予算問題、講義内容と受講者の数の問題、県や市が開く公開講座と大学が開く講座との「住み分け」の難しさなど、やはりいずれの国立大学のセンターも様々な困難に遭遇しながらも、懸命に新しい企画を打ち出して奮闘されている姿に接することが出来た。例えば、参加型・体験型学習などを取り入れた事業の企画、ニーズを創生するような事業の展開、学内の教職員の啓発、学外の機関とのチャネル形成、大学の授業科目の開放、出前（高校、町村などに）公開講座、県内のネットワーク公開講座、インターネットやSCSによる公開講座など様々な取り組みに挑戦されていることでした。

生涯学習教育研究センター研究会（H.13年2月28日）

ここで考えさせられたことは、今までの公開講座と異なる取り組みとして、両大学ともインターネットやSCSによる公開講座の試みであった。今までの講座は、受講者が一定の時間に同じ場所に集まって、講師と同じ空間で講義を受ける。それに対して、SCSは同一時間ではあるが空間が異なり、更にインターネットでは時間も空間も共有することが無い場合もでてくる。動きや表情、色や音から来る「生」の演奏の雰囲気と、映像で居ながらにして聞くことが出来るテレビやビデオやCDとの差のようなものだろうか。

今までの公開講座とは、受け取られ方や参加の仕方など大きく性格が異なるものになって行くように感じる。これからは高度の情報化指向の中で、当然考えられねばならないことではある。内容を適格に伝えるのに、画一的ではなくそれぞれの良さと教育効果を考えながら、講義のテーマと内容、受講者の年齢層、講師の制約などを加味して、使い分けて行く必要が出てくると思われる。

（生涯学習教育研究センター公開講座委員会委員）

平成12年度　静岡大学公開講座が終了

今年度の静大公開講座は、平成12年９月９日から10月28日にかけて以下の６会場で実施しました。

募集人員は昨年の実績から減少させ、60名とし、各会場毎に募集をしましたが、沼津会場を除いてどの会場も昨年を下回りました。全体の受講状況は以下のとおりでした。今年度は11月27日(月)に各市町村教育委員会の担当者にお集まり願い問題点など出していただき、テーマ希望などを次年度に組み入れることとしました。

	静岡会場	浜松会場	清水会場	沼津会場	熱海会場	浜北会場
期間(５回)	H12.9/19～10/17	H12.9/23～10/28	H12.9/16～10/21	H12.9/23～10/28	H12.9/9～10/14	H12.9/16～10/21
会場	アイセル21	工学部佐鳴会館	市中央公民館	市民文化センター	市中央公民館	市文化センター
実施時間	火・18：30～	土・14：00～	土・14：00～	土・14：00～	土・14：00～	土・14：00～
テーマ	豊かさを問う ―未来への発信	湖とヒトとの共生	遺伝子技術と社会	豊かさを問う ―未来への発信	遺伝子技術と社会	21世紀のライフプラン ―生きがいと共生を求めて
募集者数	60	60	60	60	60	60
受講者数	49(－4)	30(－12)	25(－20)	50(＋8)	15(－16)	25(今年初回)
男／女比	33(－8)/16(＋4)	21(－7)/9(－5)	12(－7)/13(－13)	18(＋4)/32(＋4)	7(－5)/8(－11)	15/10
平均年齢	59	61	58	63	56	62
受講歴初回 〃 ２回目 〃 ３回目以上	9 14 12（回答35）	10 4 5（回答19）	9 2 5（回答16）	12 3 18（回答33）	6 1 3（回答10）	全員初回
今後受講希望講座	経済９ 教養文化７	環境６ 歴史５、先端３	先端技術４ 環境３、文化３	生きがい７ 経済５	生きがい２ 環境２、歴史	環境４、科学２ 教育２、情報２

（　）は昨年比

学外公開シンポジウムの開催

例年秋季に実施している本生涯学習教育研究センター主催の学外公開シンポジウムは、県民の方々を対象として、11月11日(土)に『長寿社会をよりよく生きる』のテーマで実施いたしました。高齢者社会に向けて、生きがいのあるくらしをどう組み立てるか、心身ともに健康で魅力ある生き方とはを３名の専門家から基調講演とパネルディスカッションの形で、実施いたしました。熟年層を中心に130名の聴衆を集め、会場との活発な討論も展開され、有意義な生涯学習事業となりました。内容は以下のとおりです。

日　時：平成12年11月11日(土) 13:00～15:10

場　所：静岡市鷹匠３－６－１もくせい会館
（職員会館）富士ホール

基調講演：

１）「明るい長寿社会づくりと学習」
しずおか健康長寿財団理事長
星　　猛氏

２）「地域活動と家族力」
静岡市教育委員
林　のぶ氏

３）「こころの健康」
静岡大学保健管理センター所長
石川憲彦氏

パネルディスカッション

司会　　静岡大学副学長　中井弘和氏
農学部教授、センター教育研究担当教官

パネラー　　星、林、石川各講師
（会場参加者との意見交換）

各パネラーの魅力あるお話と生きがい学習の事例などに、会場から笑いと活発な意欲宣言などがでて、高齢者と高齢予備軍の心豊かな気持ちが会場に広がりました。

公開シンポジウム「長寿社会をよりよく生きる」パネルディスカッション

生涯学習教育研究センター事業の実施

平成12年度生涯学習教育研究センターの主催事業として、公開シンポジウムのほか以下のことを8月から今年2月にかけて実施いたしました。

1．生涯学習指導者研修事業の開催

例年実施している、静岡県公民館連絡協議会との共催事業で、公民館での生涯学習推進員や市町村の教育委員会で生涯学習事業を推進している職員を対象とした研修事業を今年度は、夏季に実施しました。研究討議にはセンター教官も参加して公民館活動の今後について語り合いました。

日　時：平成12年8月3日(木)～4日(金)
場　所：静岡市油山　元湯館
研修内容：
8月3日(火) 13:30～19:00
講義1．「生涯学習社会の構築と公民館の役割」
角替弘志氏（常葉学園大教授）
講義2．「博物館と生涯学習」
宇河雅之氏（斎宮歴史博物館学芸員）
グループワーク「公民館活動の今後ー事例・討議」
8月4日(水) 8:30～15:00
講義3．「社会教育史上の生涯学習」
菅野文彦氏（静岡大学教育学部助教授）
講義4．「科学教育と社会教育施設の活用」
熊野善介氏（静岡大学教育学部助教授）
特別講義「最近の消費者問題について」
津久井典子氏（消費生活アドバイサー）
参加者：県内公民館主事、教育委員会社会教育主事等38名

2．「学習ネットワークと生涯学習③」の開催

メディア利用の学習の在り方と、そのネットワークづくりを各種事例報告いただき、SCSを通じて関連機関と意見交換を行うSCS公開シンポジウムの第3回目を下記のように実施しました。今年度は自立型学習ネットワーク、エコ・マネーの効果的活用、メディア利用博物館ネットの事例をもとに学習ネットワークづくりを考察しました。

日　時：平成13年1月22日(月) 14:30～17:00
場　所：静岡大学附属図書館6階　SCSメディアルーム
事例報告：
研究報告1．「自立型学習ネットワーク・清見潟大学塾15年の実践から」
清見潟大学塾塾長　大石正路氏
研究報告2．「地域通貨とコミュニティ支援」
地域通貨おうみ委員会　山口洋典氏
研究報告3．「学校移動博物館から わくわくミュージアムへ」
浜松市博物館指導主事　小川雅弘氏
パネルディスカッション：
コーディネーター：角替弘志氏
（常葉学園大学教授、静大名誉教授）
参加者：学生、一般35名
SCSネット参加大学：北海道大、弘前大、茨城大、筑波大、徳島大、宮崎大など23大学

「学習ネットワークと生涯学習③」SCS利用公開シンポジウム風景

3．『きて見て静大』の開催

平成12年度から生涯学習教育研究センター主催事業に『きて見て静大』『飛ぶ教室』の二事業を行うことがきまり、「きて見て静大」を平成13年1月から2月にかけて教育学部美術教室等で**「やきもの考古学」**の公開セミナーとして実施しました。前者は学内での公開セミナー、後者は県内の市町村で出前講座的に講演会を実施しようというもので、今年度は前者が具体化しました。内容は以下のとおりで、20人募集が即日、定員に達しました。

1／27(土)　陶磁史講義
センター教官　柴垣勇夫
1／28(日)　陶器の復元（志戸呂焼）　同上
2／3(土)　陶器を作ろう
陶芸作家・指導員　前田正剛氏
2／12(月)　窯出しと釉掛け
教育学部美術科教務　土田美智子氏
2／18(日)　作品講評と講話
愛知県立芸大助教授　太田公典氏
会場：大学会館、教育学部美術教室
各日とも13:30～15:30　定員：20名

4．「生涯学習教育研究センター研究会」の実施

生涯学習教育研究センターのあり方と諸事業を考える研究会を去る2月28日(水)に持ちました。センター設置の先輩にあたる宮崎大学と富山大学のセンター専任教官の方にお越しいただき公開講座や施設等について、報告を得、公開講座のあり方を中心に本学のセンター運営委員、公開講座委員と意見交換しました。

日　時：平成13年2月28日(水) 13:30～15:30
講　師：宮崎大学助教授　原　義彦助教授
富山大学教授　大石　昂教授
会　場：大学会館研修室
参加者：センター各委員等15名

公開講座「20世紀とは何だったか」　後期日程終了

本学開学50周年記念静岡新聞社・SBS静岡放送文化スペシャル公開講座「新世紀に向けて－20世紀とは何だったか」は後期日程も12月16日(土)をもって終了しました。最終回のあと受講者と講師陣、主催者の懇親会がもたれ受講者から引き続き企画して欲しいとの意見も出ました。県内４大学学長と石川静岡県知事も参加され、静岡大学へ熱いエールが送られました。当日のテーマと講演者は以下のとおりです。なお講義録が『21世紀の羅針盤』として静岡新聞社から３月末に発刊されました。

会　　場：しずぎんホール「ユーフォニア」
開講時間：平成12年12月16日(土) 13:30～15:30
テーマ　「ともに21世紀の扉を開けよう
－大学の役割と地域－」

パネリスト　佐藤博明静岡大学長
寺尾俊彦浜松医科大学長
廣部雅昭静岡県立大学長
木村尚三郎静岡文化芸術大学長
石川嘉延静岡県知事
コーディネーター　中井弘和静岡大学副学長

平成12年度各学部等公開講座の実施状況

今年度も、各学部等での公開講座が実施されています。以下にその内容について報告いたします。

○教育学部公開講座

１）女性テニス教室
日　時：平成12年10月３日～31日
火曜・土曜　9:30～12:30（全７回）
会　場：静大テニスコート
定　員：30名

２）附属教育実践総合センター公開講座
「小学校における学級経営をめぐる問題の現状とその対応」
日　時：平成12年10月14日(土) 13:00～17:00
場　所：附属教育実践総合センター３F　多目的ホール
受講生：約70名

３）附属教育実践総合センター公開講座
「『いのち』について考える」
日　時：平成12年10月21日～11月25日
土曜日　14:00～16:00（全５回）
場　所：附属教育実践総合センター３F　多目的ホール
受講生：約20名

○情報学部公開講座

「社会人のためのマルチメディアホームページ作成教室」
日　時：平成12年11月11日(土)～12日(日)
場　所：情報学部２号館
受講生：両日で19名

○浜松城北キャンパス公開講座

「第５回テクノフェスタ・イン・浜松2000」
平成12年11月11日(土)～12日(日)
主　催：静岡大学工学部、情報学部、電子工学研究所、電子科学研究科、理工学研究科
会　場：静岡大学・浜松城北キャンパス
部会テーマ
・おもしろ公開実験2000
・浜松キャンパスにおける研究室・研究設備の公開展示
・静岡大学工学部卒業生の活躍状況紹介（企業展示）
・大学生による公開実験・展示・模擬店
・高校生のための見学会
・「静大祭in浜松」も同時開催
両日合わせ入場者約5000人を集めて盛況でした。

○大谷キャンパス「キャンパスツアー2000」

平成12年11月18日(土)～19日(日)
静岡キャンパスでも大学祭に会わせ、広報委員会、生涯学習教育研究センター、キャンパスミュージアム委員会共催のキャンパスツアーを実施。両日とも10:00～12:00
Ａ．学内探検コース（キャンパスミュージアム、自然観察、遺跡見学、構内ビオトープ等）
Ｂ．学内研究コース（農学部、理学部、教育学部、人文学部参加研究室）
両日とも参加者15名

生涯学習教育研究センターでは、学内の公開講座実施情報、大学開放事業などをこのニュースレターに掲載し、広報します。最近の計画、将来計画をセンターまでお寄せ下さい。TEL/FAX 238-4817がセンター資料室・受付です。
ホームページ http://www.shizuoka.ac.jp/~cerll/

地域と大学　第７号
静岡大学生涯学習教育研究センター情報誌
平成13年３月31日発行
〒422-8529 静岡市大谷836（理学部Ｂ棟１階）
静岡大学生涯学習教育研究センター
TEL 054-237-1111(代)
TEL/FAX
054-238-4817（資料室・受付）
事務局　静岡大学研究協力課共同施設係 TEL054-238-4264